

令和七年度 学力検査

A

国

語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問題用紙

注意	
一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。	
二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。	
三、問題は、 1 から 5 までで、ハページにわたって印刷してあります。	
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。	
四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受検番号を書きなさい。	
五、問題を読むとき、声を出してはいけません。	
六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。	

※著作権に配慮して別紙は載せていません

1

次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。（八点）

- ① 選手が記録に挑む。 ② 友達ともだちが朗らかに笑う。 ③ タブレット端末たんまつを貸与される。 ④ 英語の詩を翻訳する。

- ⑤ すぐれた芸術にふれる。 ⑥ 茶碗ちゃわんにご飯をもる。 ⑦ 海は水産物のほうこだ。 ⑧ 正しいじゅんじよで並ぶ。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。（十二点）

(一) 傍線部分①～④のうち、品詞が他と異なるものを一つ選び、その番号を書きなさい。

〔ア、二　イ、三　ウ、四　エ、五〕

(二) 傍線部分(1)「どんなことを考へてゐるのか」とあるが、この部分は、いくつの文節に分けられるか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

(三) 傍線部分(2)「胸の中につかえていたものが何だったのかやつとわかつたような気がしていいた」とあるが、次の□の中には、こころの胸の中につかえていたものが何だったのかについてまとめたものである。□に入る言葉を、本文中から四十字以上五十字以内で抜き出だぬし、最初と最後の五字を書きなさい。（句読点も一字に数える。）

こころは、□ことが、胸の片隅かたすみに引っかかっていたが、それをだれにどう相談しゃだんしたらいいのか、相談したところで、どうなるものなのかわからずに、ただもやもやとしていたことが胸の中につかえていた。

(四) 傍線部分(3)「自分が、堂島さんや洋太のために退部しようとするなんてばかげている」とあるが、ここが、自分が堂島さんや洋太のために野球部を退部しようとすることがばかげていると気づいたのは、どのようなことを思ったからか。「……と思ったから。」につながるように、本文中の言葉を使って五十字以上六十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(五) この文章で描かれているここらの心情について説明したものとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、^{えが}雨音先生に見つめられることで、美術部へ戻りたいという自分の気持ちをはつきりと意識するここらの心情を描いている。
イ、雨音先生との会話を通して自問自答したことにより、野球部と美術部との間で気持ちが揺れ動くここらの心情を描いている。
ウ、雨音先生の指示により考えを改めたことで、野球に夢中になっていた頃の気持ちを取り戻すここらの心情を描いている。
エ、雨音先生の質問に答えることにより、野球に対する気持ちが整理され、大切なことに気づいていくここらの心情を描いている。

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。（十二点）

(一) 傍線部分(1)「種子植物にとつて受粉とは、他個体との交配を通じて種子をつくるのに不可欠な、とても大事なイベントです」とあるが、次の
の中は、種子植物が受粉により、他個体との交配を通じて種子をつくる目的についてまとめたものである。
_____に入る言

葉を、本文中から十二字で抜き出して書きなさい。（句読点も一字に数える。）

他個体との交配を経ずにつくられた子孫集団は絶滅のリスクが高いことから、種子植物が受粉により、
他個体との交配を通じて種子をつくることは、
_____ために行われることだと考えられている。

(二) 傍線部分(2)「つくる」は動詞であるが、波線部分①～④の動詞のうち、活用の種類が「つくる」と同じものを一つ選び、その番号を書きなさい。

(三) 傍線部分(3)「さまざま」の品詞名として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、その記号を書きなさい。
 ア、副詞 イ、連体詞 ウ、動詞 エ、形容詞 オ、形容動詞

(四) 本文中の _____ A _____ B _____ C に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、A—同種	B—他種	C—同種
イ、A—同種	B—他種	C—他種
ウ、A—他種	B—同種	C—同種
エ、A—他種	B—同種	C—他種

(五) 傍線部分(4)「植物の多様性が大きい場所では動物媒のほうが有効である」とあるが、次の

の中は、送粉において、植物の多様性が大きくなるから。

きい場所では、風媒よりも動物媒のほうが有効である理由について、筆者の考えをまとめたものである。

に入る言葉を、花を訪れる動物(訪花者)の性質にふれて、本文中の言葉を使って三十五字以上四十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

花を訪れる動物(訪花者)には

ことになるから。

次のIは古文、IIは漢文の書き下し文である。IとIIの文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(八点)

二人の子どもに道で出会った
(注1)

言うには

日の出の時

I
孔子、道を行き給ふに、七、八歳ばかりの二人の童、道に值ひぬ。共子に問ひていはく、「日の始めて出づる時は太陽
日近し。日中に至りては日遠し」と。一人の童のいはく、「日の始めて出づる時は日遠し。日中に至りては日近し」と。
真昼になると

日近し。日中に至りては日遠し」と。一人の童のいはく、「日の始めて出づる時は太陽
日遠し。日中に至りては日近し」と。

湯の中に手を入れたようだ

真昼になると

先の童、亦返していはく、「日の出づる時は熱くして、湯を探るが如し。豈に、日の出づる時は

どうして

判断を下すことができなかつた

① く、日中を ② し

「日の出づる時は涼し。日中に至りぬれば熱くして、湯を探るが如し。豈に、日の出づる時は
といはむや」と。如此く二人して争ひて、問ふといへども、孔子裁り給ふ事能はず。

(「今昔物語集」による。)

*一部表記を改めたところがある。

II

(2)
二人の子どもが
言い争っているのを

理由

思うには

東方に旅行した このように
孔子東に遊ぶ。両小兒の弁闘するを見て、その故を問ふ。一児曰く、「我以へらく、日の始めて出づる時、

我々から

人を去ること近くして、日の中する時遠し。」と。一児以へらく、「日の初めて出づるや遠くして、日の中する時近し。」と。

最初の
子ども

大きさ (注2)

(注3)

遠くのもの

近くのもの

一児曰く、「日の初めて出づるや、大いさ車蓋の如し。日の中するに及ぶや、則ち盤盂の如し。此れ遠き者小にして近き者大なる

ではないか
子ども

もう一人の
子ども

ひんやりとしている

が為ならずや。」と。一児曰く、「日の初めて出づるや、滄滄涼涼たり。その日の中するに及ぶや、湯を探るが如し。

判断を下すことができなかつた

此れ ③ き者熱くして ④ き者涼しきが為ならずや。」と。孔子決すること能はず。

(「列子」による。)

*一部表記を改めたところがある。

(注1) 共子 | | | 孔子のこと。

(注2) 車蓋 | | | 馬車の上をかわす傘。

(注3) 盤孟 | | | 食器の鉢や椀。

- (一) 傍線部分(1)「いはむや」を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。
- (二) 傍線部分(2)「両小兒の弁闘するを見て」にしたがつて、返り点を正しくつけたものは、次のア～エのうちどれか。最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、見_二両 小 児_レ弁闘 イ、見_二両 小 児_レ弁闘 ウ、見_二両 小 児_レ弁闘 エ、見_二両 小 児_レ弁闘〕

(三) 次の【話し合いの様子】は、はるおさんとあきなさんがIとIIの文章を読んだあとに話し合ったときのものである。これを読んで、□Aに

入る言葉として最も適当なものを、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

【話し合いの様子】

はるおさん IとIIの文章では、どちらも二人の子どもが、自分たちと太陽との距離について、それぞれ自分の意見と、その根拠を主張している様子が表現されているね。

あきなさん そうだね。「日の出の時の太陽が近く、真昼の太陽が遠い」という意見について、Iの文章では、子どもが感じた気温の違いを根拠に主張していて、IIの文章では、子どもが見た□Aの違いを根拠に主張しているね。

はるおさん 本当だね。「日の出の時の太陽が遠く、真昼の太陽が近い」という意見については、Iの文章とIIの文章のどちらも子どもが感じた

気温の違いが根拠になっているね。

〔ア、太陽の動き イ、太陽の明るさ ウ、太陽の大きさ エ、太陽の方角〕

- (四) IとIIの文章の□①、□②、□③、□④に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、①—近 ②—遠 ③—近 ④—遠 イ、①—遠 ②—近 ③—近 ④—遠
ウ、①—近 ②—遠 ③—遠 ④—近 エ、①—遠 ②—近 ③—遠 ④—近〕

A中学校では、毎年一月に、同じ地域の小学校六年生を招いて、新入生説明会を行っており、その一部を生徒会役員が企画・運営している。次に【話し合いの様子】は、今年度の新入生説明会でどのようなことを行うかについて生徒会役員が話し合ったときのものである。【話し合いの様子】、【資料1】、【資料2】、【資料3】を読んで、との各問いに答えなさい。(十点)

【話し合いの様子】

あかりさん 【資料1】を見てください。私たちは新入生説明会の中の「生徒会より」という三十分間の内容について、企画・運営を行います。昨年度は、中学校生活の一日の様子をスライドショーで紹介しました。今年度の「生徒会より」の企画内容について、【資料2】、【資料3】とともに考えましょう。

はるとさん

【資料2】を見ると、部活動や文化祭、体育祭についてくわしく知りたかったということがわかりますね。また、説明を聞いているだけの時間が多く、たいくつだつたという感想もあるので、参考にしたいですね。

かずやさん

【資料2】を見ると、【資料3】を見ると、IとIIという項目は楽しみにしている人も、不安に思っている人もいることがわかります。また、IとIIを楽しみにしている人の割合が最も大きいことがわかりますね。

はるとさん

なるほど。でも、文化祭と体育祭を合わせて「学校行事」として考えると、Iを楽しみにしている人の割合よりも「学校行事」を楽しみにしている人の割合のほうが大きくなりますね。また、IIとIIIを不安に思っている人の割合は同じで、

すると、IとIIとIIIと宿題を合わせて「学習」として考えると七割の六年生が中学校の「学習」に対して不安に思っていることがわかりますね。

あかりさん

小学校六年生にとって充実したものにするための工夫が必要だと思いました。では、具体的な企画内容について話し合いましょう。

【資料1】●今年度の新入生説明会の日程

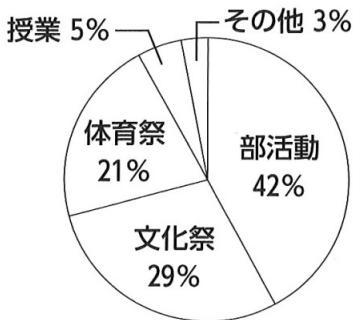
- 14:00 新入生説明会開始
- 14:05 あいさつ(校長先生)
- 14:10 中学校の概要説明
(教頭先生)
- 14:40 「生徒会より」
- 15:10 新入生説明会終了

【資料2】●昨年度の説明会に参加した小学校六年生の感想

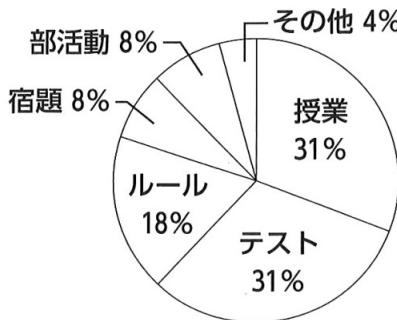
- ・部活動について、どんな部活動があるか、いつ活動するか、などをくわしく知りたかった。
- ・数学や技術など中学校から新しく始まる授業について具体的に知りたかった。
- ・文化祭と体育祭についてもう少しくわしく教えてほしかった。
- ・スライドショーがわかりやすかった。
- ・説明を聞いているだけの時間が多く、たいくつだった。
- ・中学生が実際に活動している様子を見てみたいと思った。

【資料3】●今年度の小学校六年生に実施したアンケート結果

〈中学校生活で楽しみなこと〉



〈中学校生活で不安なこと〉



(一) 【話し合いの様子】の 、、に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、イ――部活動〕 授業 テスト
〔ウ、イ――部活動〕 授業 テスト
〔エ、イ――授業〕 部活動 ルール

(二) あかりさんは今年度の新入生説明会の司会を担当するため、司会原稿を作成している。次のの中はあかりさんが考えた司会原稿の一部である。波線部分「開催なさいます」の言葉の使い方が適切でないと先生から指摘されたあかりさんが、波線部分「開催なさいます」を適切に書き直したものとして最も適当なものを、あとの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ただいまより新入生説明会を開催なさいます。六年生のみなさん、本日はA中学校に来ていただき、ありがとうございます。

〔ア、開催いたします〕 〔イ、開催くださいます〕 〔ウ、開催いたします〕

(三) 【話し合いの様子】の傍線部分「生徒会より」の時間を今年度の小学校六年生にとつて充実したものにするための工夫について、あなたの考えを、次の【作文の注意】にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② 具体的な企画内容を示し、【資料2】と【資料3】を根拠に、「生徒会より」の時間を今年度の小学校六年生にとつて充実したものにするための工夫を明確にして書きなさい。
- ③ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方にしたがい、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。

番

得点

1

① む
② らか
③
④

2

⑤ れる
⑥ る
⑦ はら
⑧ じゆん
じゆ

3

(一) (二)
(三) (四)
(五) (六)
(七) (八)

4

(一) (最初)
(二) (最後)

と思つたから。

4	(-) <input type="text"/>	(+) <input type="text"/>	(II) <input type="text"/>	(III) <input type="text"/>
----------	--------------------------	--------------------------	---------------------------	----------------------------

5

1

1

11

A small, empty rectangular box with a black border, likely intended for a student to draw or write something.

111

200 180 160 140 120 100 80 60 40 20

—おわり

令和七年度学力検査

A 国語 解答用紙

A (国語) 採点基準

「採点基準」で処理できない場合は、各校の統一見解で採点されたい。

問題	正 答 例												備 考
	12点	8点	1点	12点	2点	8点	1点	12点	2点	8点	1点	12点	
(五) (四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一)	(四) (三) (二) (一)	中 か ら 入 し ま つ た	中 か ら 入 し ま つ た	中 か ら 入 し ま つ た	中 か ら 入 し ま つ た	宝 庫 い ど (む)	*				
安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	工 ②	工 ②	工 ②	工 ②	触 (れる) ほ が (らか)	*				
同じ種類の花を選択的に訪れる傾向があるため、 植物種間の送粉が相対的に多く行われる	同じ種類の花を選択的に訪れる傾向があるため、 植物種間の送粉が相対的に多く行われる	同じ種類の花を選択的に訪れる傾向があるため、 植物種間の送粉が相対的に多く行われる	同じ種類の花を選択的に訪れる傾向があるため、 植物種間の送粉が相対的に多く行われる	工	工	工	工	順 序 ほんやく	*				
(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(五十字)	(五十字)	(五十字)	(五十字)	(五十字)	(五十字)	(五十字)	(五十字)	(五十字)	*
(五) (四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	工 ③	工 ③	工 ③	工 ③	安 定 す て 子 種 を 繼 い で く	安 定 す て 子 種 を 繼 い で く	安 定 す て 子 種 を 繼 い で く	安 定 す て 子 種 を 繼 い で く	安 定 す て 子 種 を 繼 い で く	*
安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	工	工	工	工	(十二字)	(十二字)	(十二字)	(十二字)	(十二字)	*
(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	*
(五) (四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	工 ④	工 ④	工 ④	工 ④	工 ⑤	工 ⑤	工 ⑤	工 ⑤	工 ⑤	*
安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	工 ⑥	工 ⑥	工 ⑥	工 ⑥	工 ⑦	工 ⑦	工 ⑦	工 ⑦	工 ⑦	*
(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	*
(五) (四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	(四) (三) (二) (一) (五)	工 ⑧	工 ⑧	工 ⑧	工 ⑧	工 ⑨	工 ⑨	工 ⑨	工 ⑨	工 ⑨	*
安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	安定して子孫を継いでいく	工	工	工	工	工	工	工	工	工	*
(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	(四十二字)	*

(裏面へ続く)

